

## 弔 辞

同志社大学教授，太田藤一郎先生の訃報に接し，まことに言う言葉なく，哀惜の念にたえません。

先生は昭和19年同志社外事専門学校教授にご着任，爾来同志社大学教養学部，文学部教授，また大学院文学研究科教授として同志社のために，そのすべてを捧げられました。

戦後昭和20年代は大学の規模も小さく英文学科と文化学科とはともに小人数で隣接して図書室，研究室をもっていました。若き日の先生は活力にあふれ，積極的で青年将校のごときたのもしさがありました。

研究室や書庫の移転などのときも率先して指揮をとられ，てきぱきと処理しておられました。うろろろしている私に活を入れて下さるほどの明るさと力にあふれた方でありました。

先生は生来，温厚であられ，人を疑うことのない心あたたかい，まことの愛の人でありました。キャンパスや会議でお目にかかるとき，先生はつねに笑みをたたえ，あたたかいまなざしで慈愛に満ちた言葉を静かにかけて下さる方でありました。

先生は英文学者として，ことに小説研究家として，著名であり，また教育者として後進の指導にあたられ，高尚なる生涯を歩みとおされたと信じます。

忽然として，われわれの群から去られ，幽明境を異にするなど，いままなお信じることができません。いまま先生のあの温顔にお目にかかるような思いがいたします。

先生のしずかなるみ霊の上にとこしえのやすらぎと祝福がありますよう，

また、おかなしみの中にあるご遺族の上にゆたかなるなぐさめがあります  
よう、心から祈ります。

1981年3月16日

同志社大学長 松 山 義 則